

美術総合・京都市芸大専攻

設置クラス	本科 高卒生	月曜～水曜 9:30～16:30 日曜 9:30～18:00
	専科 高3生・高卒生	月曜～水曜 17:30～20:30 日曜 9:30～18:00
	高2専科(京都市芸大コース) 高2生	月曜～水曜 17:30～20:30 日曜 9:30～18:00
	平日専科 高3生・高卒生	月曜～水曜 17:30～20:30
	日曜専科 高3生・高卒生	日曜 9:30～18:00
	高2日曜専科(京都市芸大コース) 高2生	日曜 9:30～18:00



『美術』への道しるべ。

美術を志そうとする人は、まず美術の幅をいろいろと体験することです。その中で、さまざまなものの見方や感じ方、とらえ方や考え方、興味や探究心が生まれ、そこから、自分が志す描き手やつくり手などの「美術の道」が見え始めるのです。

当専攻では、美術の共通基礎を学ぶと共に、絵画・彫刻・工芸・デザイン・映像など、すべての分野が同居する中で、一人ひとりが可能性を探り、自分の道に向かいます。

指導スタッフ

多方面の分野から集結したプロの美術家たちです。確かな実績を元に皆さんの夢を全力でサポートします。

- レギュラー講師
- 河合 歩美 愛知芸大デザイン卒
- 志賀 佳奈子 愛知芸大デザイン在籍
- 竹森 千晴 愛知芸大大学院彫刻修
- 藤野 直也 愛知芸大大学院日本画修
- 宮治 綱 愛知芸大大学院日本画修

- 招待講師
- 五味 紫音 京都市芸大版画在籍
- 中村 美心 京都市芸大油画在籍
- 橋本 きおな 京都市芸大大学院陶磁修
- チューター
- 磯村 嶺太 愛知芸大日本画在籍
- 梶田 純矢 名古屋造形大映像文学在籍



(2024年12月現在・50音順)

年間カリキュラム	総合コース	京都市芸大コース
	春期講習	
1学期 ●入塾ガイダンス ●第1回全統共通テスト模試 ●全体保護者会(動画配信)	[基礎と体験学習] ～全コース共通基礎課題～ ●写生(植物・動物・風景) ●デッサン基礎 ●図学 ●色彩学 ●色彩構成基礎 ●立体造形基礎	[基礎と体験学習] ～全コース共通基礎課題～ ●写生(植物・動物・風景) ●デッサン基礎 ●図学 ●色彩学 ●色彩構成基礎 ●立体造形基礎
●第2回全統共通テスト模試	夏期講習	
2学期 ●保護者会(三者面談) ●塾生作品展 ●大学入学共通テスト出願 ●第3回全統共通テスト模試 ●全統プレ共通テスト	[表現研究と入試対応] ～共通実技と志望大学個別対策～ ●自由制作(塾生作品展) ●造形・表現研究 ●人体クロッキー・フォルム研究 ●発想演習 ●構成研究	[表現研究と入試対応] ～共通実技と京都市芸大対策強化～ ●自由制作(塾生作品展) ●造形・表現研究 ●人体クロッキー・フォルム研究 ●発想演習 ●構成研究
●京都市芸大公開実技模試	冬期講習	
3学期 ●大学入学共通テスト ●修了会	[志望校別対策] ～対応力を身につけ、完成度を高める～ 入試に向けて、それぞれの志望大学に応じた課題の対策を行います。入試本番を間近に控え実践力を強化します。	
	直前講習	



デッサンゼミ(形体理論)

デッサンの基礎として必要な形体理論による立体表現を、光の照射を使った実演を通じて学びます。



写生(植物・動物・風景)

観察する目を鍛えるために、幅広いモチーフを時間をかけてよく見て、細かく描写します。



デッサン(視点・構図研究)

アトリエ内にモチーフが点在する中で、自分の視点で場所を選び、構図に拘りながら描写します。



素材・技法研究(絵画)

作家作品の研究をし、それをもとにさまざまな描画材や表現技法の模索・実験を繰り返しながら描きます。



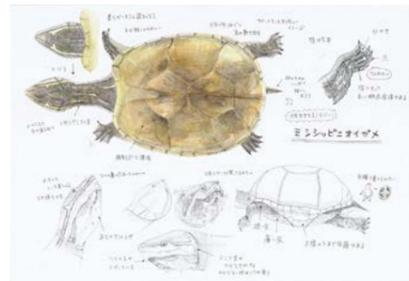
生物の取材(観察・スケッチ)

「生物」をテーマとした作品制作のために、水族館や動物園で、スケッチや写真撮影を行います。

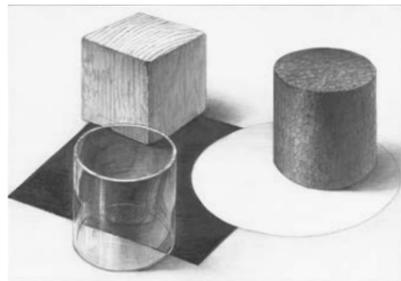
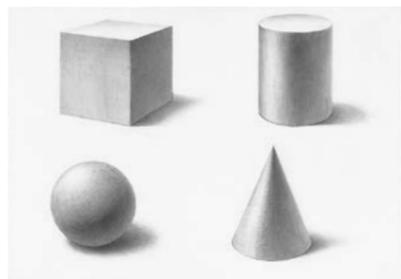


フォルム研究(粘土塑造)

人体から得た形を利用して、立体としての「良いフォルムとは何か?」を研究し、粘土で表現します。



1 描写の基礎である観察力を養う細密デッサンと野菜のスケッチです。【各3h・B3・デッサン、スケッチ】



2 理論を把握して描写するための基本形体演習と、それを応用した卓上デッサンです。【各5h・B3・デッサン】



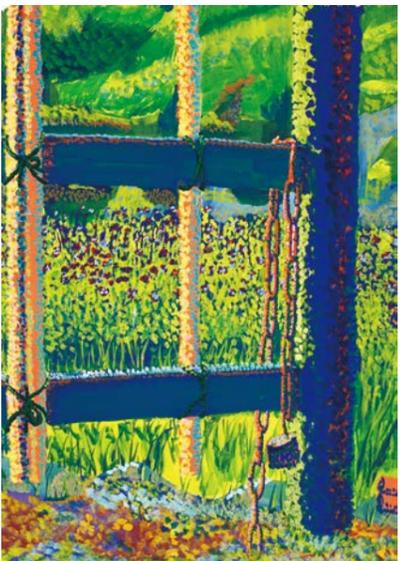
明度対比 彩度対比 色相対比



3 地と図の反転効果と色の三属性を理解するための色彩基礎演習と応用課題です。【各6h・B3・色彩構成】



4 大胆な構図や模様にはポップな印象がありますが、グレーの色調により落ち着いた雰囲気も感じられる作品です。【6h・B3・色彩表現】



5 公園で行った風景写生です。印象派の授業を基に自分の視点で風景を切り取り描いています。【15h・B3・風景写生】



6 静物モチーフを自分の視点で描いた作品です。階段的な空間表現と、モチーフの描き込みも緻密です。【6h・A2・デッサン】

授業 Close Up 美術体験〈日本画～箔張りと揉み紙～〉

プロの日本画家の指導による絵画制作実習です。絵を描く過程のおもしろさを実感できるように、和紙の膠筆びき、地塗り、箔貼り、揉み紙技法による絵画づくりを体験しながら、岩絵具などの日本画の画材を使って好きなものを描きました。



これから美術を初歩から始めようとしている人、自分はどの分野に向いているか分からず迷っている人、あるいはやりたいことが複数だったり、美術全般を勉強したい人など幅広く対応していくコースです。（※教育美術には対応していません）

志望分野や志望大学、実技経験の有無は問いません。まずは美術の体験と基礎学習を中心に、一人ひとりの個性や資質に合った目標づくりと受験対策を進めていきます。

授業では、美術を知ることの基盤として、各種講義とデッサン、着彩、色彩表現、立体造形などの実技を行っています。

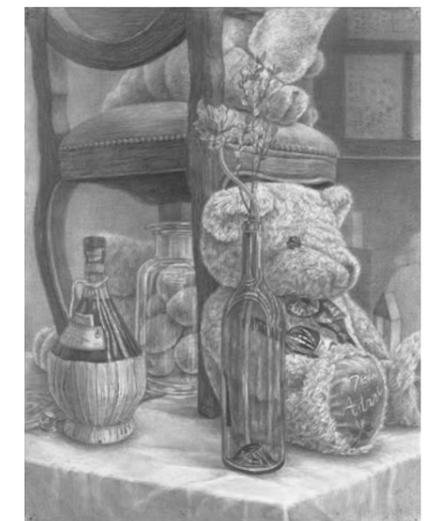
2学期以降は、それぞれの志望に合わせた授業内容を個別に設定し、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜に向かって対策を進めていきます。



1 「二つの異なる天気」がテーマの作品です。丸い月の中のみが晴れており、彦星と織姫が出会う様に作者の七夕への思いが感じられます。【15h・B3・色彩表現】



2 任意の映像作品を紙レリーフで再構成した作品です。限られた色彩の活用や、レリーフならではの空間表現が巧みに生かされています。【15h・B3・立体造形】



3 2学期の大型静物デッサンです。モチーフ同士が複雑に重なり合う空間や、モチーフの豊かな質感の違いを、確かな描写力で描き切っています。【18h・木炭紙大・デッサン】



4 秋のモチーフを色彩豊かに表現している作品です。淡い色調と彩度の高い色味の対比が目を引きます。【6h・B3・色彩表現】



5 赤いポリリなどが空間的に構成された作品です。丁寧に描写されており、匂いまでもが伝わってきそうです。【15h・B3・細密描写】



6 人体をテーマにした作品です。力強い躍動感が魅力的です。【10h・高25cm・塑造】



7 モチーフを持つ手のデッサンです。シンプルな透明リングを使って、複雑でダイナミックな空間演出ができています。【6h・B3・デッサン】



8 デフォルメした鳥のデザインが秀逸な作品です。画面に対する3匹の入り方や、間の空け方のバランスが良いです。【6h・B4・色彩表現】



9 静物を自分の視点で切り取り、自分のイメージで描いた着彩です。独特の構図と色彩に味わいのある作品です。【10h・A2・静物着彩】

京都市芸大コース 本科・専科・高2専科・平日専科・日曜専科・高2日曜専科

京都市立芸術大学のすべての専攻を主にして京都の私立大学や他の併願大学も含めて入試対策を進めていくコースです。京都市立芸術大学は、美術学校として日本最古の長い歴史の中で豊富な経験と優れた実績を有しています。現在の美術学部は美術科（日本画、油画、彫刻、版画、構想設計）、デザイン科（総合デザイン、デザインB）、工芸科（陶磁器、漆工、染織）、総合芸術学科（総合芸術学）の4学科（11専攻）から成り立っていますが、専攻の選択は入学後2回生以降に行います。入試での実技課題は全科共通で「描写」「色彩」「立体」の3つです。入試の基盤となるのは「物をよく見て描く」「自由に色を使う」「自由に形をつくる」という最も基本的なものです。授業では、観察することを中心に、美術の知識や実技に関する各種講義、基本演習、表現体験などを通して基礎実技力と表現感覚を育て、入試に必要な実技力と対応力を幅広く養成していきます。



1. 京都市立芸術大学の過去問に近い設定のデッサンです。ゴム手袋、ブリキバケツ、石鹸の紙箱、自然物のオレンジ、それぞれの質感がしっかり描き分けられています。モチーフと余白のバランスや手前から奥にかけての空間もうまくつながりがついています。[5h・B3・鉛筆描写]



3. 「自然と人工」というテーマに、2つの異なる音を用いて答えている作品です。ひとつの画面を色と形で明確に対比し、見やすい画面となっています。それぞれの音のイメージに合わせて色調だけではなく表現技法も変えています。[6h・25×50cm・色彩表現]



2. 絵の具の技法演習から制作した作品です。単純な技法だけでどのような作品づくりができるか、試行錯誤しながら取り組んでいます。色面の疎密や明度、彩度の幅もしっかり押さえられています。[5h・B3・技法研究]



4. 京都市立芸術大学の2023年度入試問題に取り組んだ作品です。米袋の大きさをしっかり表現しながら、手前をピンチで挟み、浮かせることで空間の複雑さもつくり出しています。[5h・B3・鉛筆描写]



5. 「遊び」をテーマに制作した作品です。暗い色面にも柄を入れるなど、気の利いた仕事が入っています。手やジョーカーなどのデザインも秀逸です。[3h・25×25cm・色彩表現]



6. 「フライングフォーム」というテーマが明確に表現されている作品です。シンプルな形と構成ですが、大きな陰影とアクセントになる細かい造形がとても良いバランスで入っています。[4h・高35cm・立体造形]



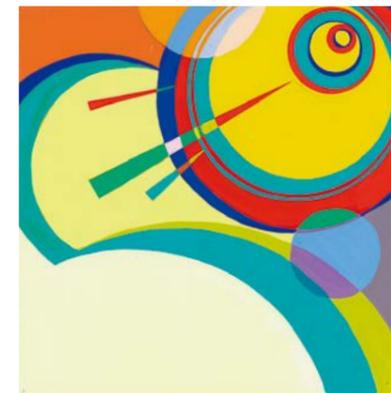
7. 細部の書き込みやリアルさが追求された作品です。特に大きく広げられた紙ナプキンは、皺の入り方や窪み、紙の柔らかさをリアルによくとらえられています。ガラスの反射の描き込みの緻密さも目を見張ります。白黒の中でハロウインの楽しげな雰囲気をよく表現しています。[4h・B3・デッサン]



8. 「植物の成長」というテーマで制作した作品です。複数の素材が持つ魅力を引き出しながら、それぞれを組み合わせることで自然物らしい造形を生み出しています。成長していく伸びやかな構成も含め、テーマが適切に表現できています。[5h・35cm・立体造形]



9. 「硬い」と「柔らかい」をテーマにした作品です。素材同士の扱いを明確に分けたことで、対比的な見やすさが生まれています。[5h・35cm・立体造形]



10. 幾何図形のみでテーマの「軽快」を表現した作品です。色面の疎密バランスも良く、テーマが色と形で明快に表現されています。[3h・30×30cm・色彩表現]



11. 「顔」をテーマに制作した作品です。赤や橙が効果的に見える配色や、細部にまでこだわりを感じる顔のパーツのデザインが魅力的です。[3h・35×35cm・色彩表現]

合格者からのメッセージ



大野 煌貴さん
京都市芸大本科
豊田西高校出身

合格

多摩美術大学 劇場美術デザインコース



授業作品

美術総合・京都市芸大専攻に入れば、描写・色彩・立体の基礎力がしっかりつきます。京都市芸大をめざし一浪しましたが、昔から興味のある演劇デザインに進路を変えて合格しました。試験内容が変わっても京都市芸大対策で培った力で十分対応できたし、頭に思い浮かべた舞台デザインのイメージを紙上に表現するのにとても役立ちました。ぜひ美術総合・京都市芸大専攻へ。



畠山 紘幸さん
京都市芸大専科
中部大学春日丘高校出身

現役合格

尾道市立大学 美術学科
京都芸術大学 油画コース
京都精華大学 造形学科



授業作品

河合塾に入塾したことで、自分の能力の程度を理解し、そこから少しずつ前に進む方法を実践し、確かな成長を得ることができました。模試や多くの参考作品、多彩なカリキュラムなど充実した設備の中、学ぶことができたからです。アドバイスを3つ。1つ、自分に自信をもつ。2つ、平静さを欠かさない。3つ、あきらめない！ここでの経験は受験だけでなくこれからの人生でも役に立つこと間違いなしです。